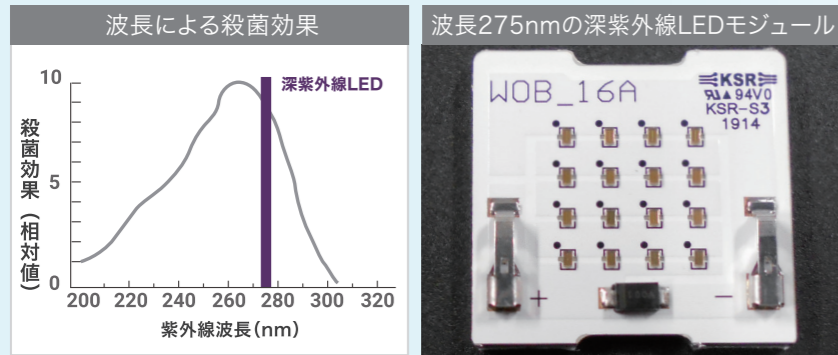
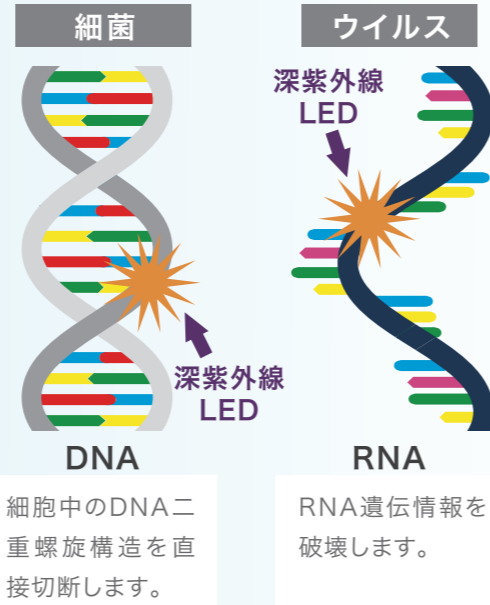


波長275nm深紫外線LEDによる殺菌・不活化メカニズム

細菌やウイルスは深紫外線領域に最大吸収帯を持ちます。そのため、深紫外線の光が細菌や病原菌に照射されることで、細菌のDNA構造は分断・破壊され殺菌できます。またウイルスはRNA遺伝情報が破壊され、不活化できます。



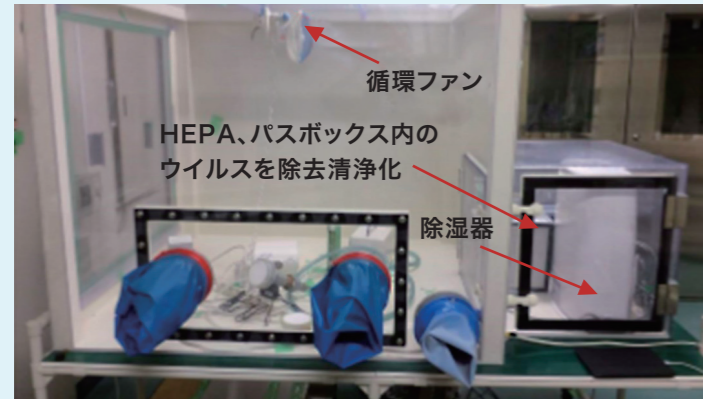
高い信頼性と安全性により、NASA国際宇宙ステーションに採用され、宇宙飛行士の生命と健康を守っています。



深紫外線LEDによる殺菌・不活化検証

専門機関において、様々な細菌やウイルスで検証を行いました。

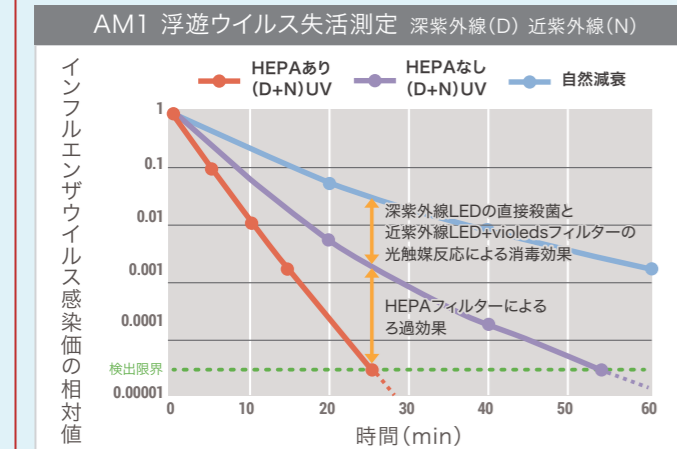
【実証試験の様子】



検証機関：メディアエア・ジャパン株式会社 場所：仙台医療センター ウイルスセンター

■インフルエンザウイルス

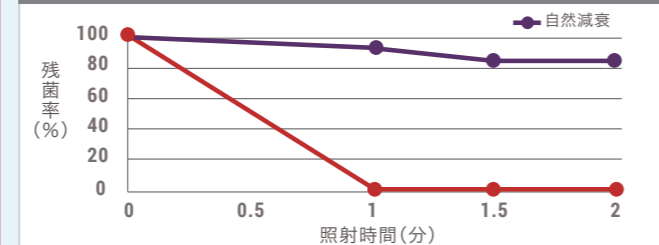
使用機材：UV殺菌消臭器 LED PURE AM1 (波長275nm 深紫外線LED 光出力2mWx3灯)



結果 25分以内に検出限界以下まで不活化

■コロナウイルス229E

使用機材：ハンディUV-LED殺菌灯(NS275-HSL-20W) (波長275nm 深紫外線LED 光出力220mW) コロナウイルス229E不活化評価結果 ※WD:10cm



結果 距離10cmで、1分30秒以内に検出限界以下まで不活化

■レジオネラ菌

使用機材：UV殺菌加湿消臭器 LED PURE HH1+ (波長275nm 深紫外線LED 光出力7mW) 10^0 $10^{(-1)}$ $10^{(-2)}$ CFU/ℓ

深紫外線LED 照射なし				
1回目				62
2回目				59
3回目				61
CFU平均				60.7
深紫外線LED 30分照射				
1回目	0	0	0	
2回目	0	0	0	
3回目	0	0	0	
CFU平均	0	0	0	<1.00E+04 (10,000)

結果 30分以内で、1.8Lのタンク内の水を検出限界以下まで殺菌

■ノロウイルス

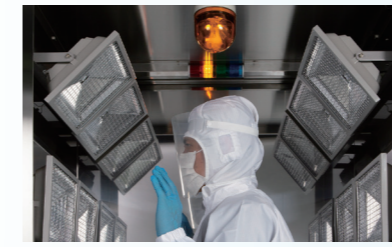
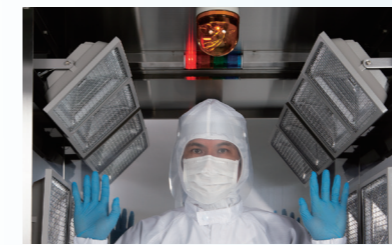
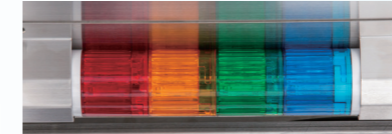
使用機材：NS275U-11YF (波長275nm 深紫外線LED 光出力7mW)

結果 距離10cmで、30分以内に検出限界以下まで不活化

便利な機能が満載!

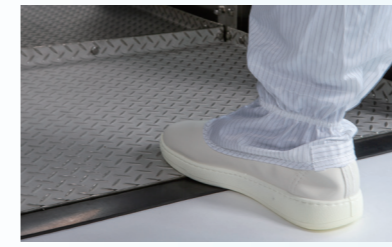
タイミングを知らせる積層信号灯

全身を不活化するために4分20秒間で体を一回転させる必要があります。向きを変えるタイミングは、天上部に設置された積層信号灯が赤、黄、緑、青の順番に点灯し、光と同時に音で知らせてくれます。



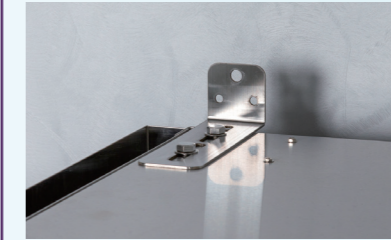
センサーによる自動オンオフ機能

使用方法は簡単、BOX内へ足を踏み込むと、赤外線センサーが自動で電源をオン。その後、4分20秒で自動的にオフになります。ボタンを押す操作がないため、接触機会を最小限に留めることができます。



転倒防止フック

地震による転倒を防ぐフックが2ヶ所取り付けられています。



動作中は、回転灯が点灯

深紫外線の光は人間の目には見えませんが、使用法を誤ると危険です。動作中は、天井に設置された黄色の回転灯が、使用者と、周りに注意喚起します。



緊急停止ボタン



万が一の場合は、入口に設けられた緊急停止ボタンを押せば安全に停止します。

深紫外線LED殺菌灯

波長275nmのハイパワー深紫外線LEDモジュールを搭載した殺菌灯が、左右12灯ずつ配置され、全身をくまなく不活化します。



ブレーカーボックスとコンセント

100V電源さえ確保すれば、空調ダクト工事や水道工事、電気工事などは一切不要で、どこでも設置可能。



※撮影のため、本体正面を覆う、紫外光が外に漏れるのを防止するビニールシートは外しています。